

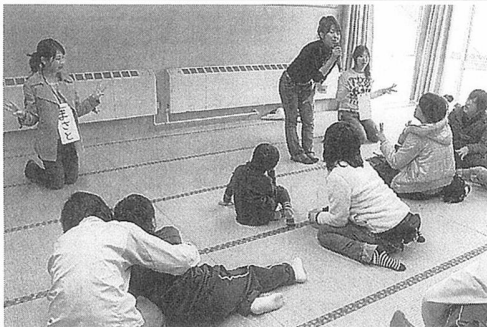
媒体名：朝日新聞(朝刊)  
 掲載日：2007年2月23日  
 出版社名：朝日新聞社

## 軽度発達障害

# 親子で改善5カ条

授業中、じっと座ってられない、学校の友だちとかかわるのが苦手、キレやすい……。こうした特徴のある軽度発達障害児の多くが、学校生活や学習に困難を抱えている。4歳・11歳の子どもの親の24家族集まり、3泊3日の合宿で改善を目指すキャンペーンが今月中旬の週末、三浦市で開かれた。周囲が「ほほ笑む」「ほめる」といった、子どもとの接し方を意識することが、改善への近道だといふ。

(小島寛明)



軽度発達障害の改善を目指すキャンペーン17日午後1時半ごろ、三浦市内で

## 24家族、合宿で実践 三浦

ほめる・ほほ笑む・話しかける…

軽度発達障害。授業中に机を離れてしゃべりまわったり、不注意な間違いが多い、順番を待てないといった特徴がある。注意欠陥・多動性障害(ADHD)や他人と関係を保てない、極端に学力が低い(こぼれ)など、ほと

んど無い。中枢神経系の障害が原因とみられてくる。02年の文部科学省の調査では、知的発達に遅れないものの、学習面から行動面で言い難い困難を示す教師が回答した小中学生は、6・3%にのぼるとされる。

「風邪をひくから、はやくお薬をください」。父親38のちびっ子に注意にも、男児は「お薬を」「お薬を」を繰り返す。父親は「お薬を」を繰り返す。父親は「お薬を」を繰り返す。

とが多いという。このため、キャンペーンは、親向けのプログラムを用意している。大人が一人組になっても、1人が飽きっぽいので、2人が同時に読んで、1人が欠点を話す。相手は「好奇心が旺盛な子ども」と工夫して欠点をほめる。

かた「触る」「ほめる」の5つ。軽度発達障害のある子は、ほめられることが多く、対不安を抱いていない。大人が一人組になっても、1人が飽きっぽいので、2人が同時に読んで、1人が欠点を話す。相手は「好奇心が旺盛な子ども」と工夫して欠点をほめる。

「お！なまーえ、なにかやー」海老のぞむ三浦市内の宿泊施設、ピアノの伴奏にあわせた歌声が、体育館に響く。指導役の女性にマイクを向けられた男の子は、小さな声で自分の名前を答える。「上手に言えだね。女性にはめられた男の子は、恥ずかしそうにほほ笑んだ。

歌による自己紹介は、岡山県にある倉敷市立短大の平山諭教授(以下)が発達臨床学Ⅱが考案したプログラムのひとつ。24回目を迎えた。初めて首都圏で開いた。教え子の短大生や、卒業生らが指導役を務めている。

平山教授は15年前から、中国地方や関西で、注意欠陥・多動性障害(ADHD)や、高機能自閉症といった軽度発達障害のある子どもを集めたキャンプを半年に1度のペースで開いてきた。参加した親からも好評で、

「風邪をひくから、はやくお薬をください」。父親38のちびっ子に注意にも、男児は「お薬を」「お薬を」を繰り返す。父親は「お薬を」を繰り返す。

とが多いという。このため、キャンペーンは、親向けのプログラムを用意している。大人が一人組になっても、1人が飽きっぽいので、2人が同時に読んで、1人が欠点を話す。相手は「好奇心が旺盛な子ども」と工夫して欠点をほめる。

かた「触る」「ほめる」の5つ。軽度発達障害のある子は、ほめられることが多く、対不安を抱いていない。大人が一人組になっても、1人が飽きっぽいので、2人が同時に読んで、1人が欠点を話す。相手は「好奇心が旺盛な子ども」と工夫して欠点をほめる。

「お！なまーえ、なにかやー」海老のぞむ三浦市内の宿泊施設、ピアノの伴奏にあわせた歌声が、体育館に響く。指導役の女性にマイクを向けられた男の子は、小さな声で自分の名前を答える。「上手に言えだね。女性にはめられた男の子は、恥ずかしそうにほほ笑んだ。

歌による自己紹介は、岡山県にある倉敷市立短大の平山諭教授(以下)が発達臨床学Ⅱが考案したプログラムのひとつ。24回目を迎えた。初めて首都圏で開いた。教え子の短大生や、卒業生らが指導役を務めている。

「風邪をひくから、はやくお薬をください」。父親38のちびっ子に注意にも、男児は「お薬を」「お薬を」を繰り返す。父親は「お薬を」を繰り返す。

とが多いという。このため、キャンペーンは、親向けのプログラムを用意している。大人が一人組になっても、1人が飽きっぽいので、2人が同時に読んで、1人が欠点を話す。相手は「好奇心が旺盛な子ども」と工夫して欠点をほめる。

かた「触る」「ほめる」の5つ。軽度発達障害のある子は、ほめられることが多く、対不安を抱いていない。大人が一人組になっても、1人が飽きっぽいので、2人が同時に読んで、1人が欠点を話す。相手は「好奇心が旺盛な子ども」と工夫して欠点をほめる。